



彩の国さいたま

<管内関係機関・認定農業者等向け情報誌>

加須農林振興センターだより

発行 埼玉県加須農林振興センター 加須市不動岡 564-1

TEL : 0480-62-4771 FAX : 0480-62-1499

e-mail : g624771@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0907/>



埼玉県のマスコット
「コバトン」、「さいたまっち」

期待の埼玉県育成いちご新品種「べにたま」



「べにたま」の果実

も同席のもと、「べにたま」の出荷規格等について検討が行われました。初めて取り扱う品種となるため、当センターでは定期的な現地検討会や生育調査を実施し、本地域での特性を確認するなど、県内先陣を切った「べにたま」の栽培支援に取り組んでいます。

加須市北川辺いちご部では、県内に先駆けて埼玉県育成いちご新品種「べにたま」の栽培に取り組んでいます。11月19日から「べにたま」が出荷され、県内のスーパーで限定的に販売が開始されました。「べにたま」は大粒で糖度が高く、食味が良いうえに果皮が傷みにくく、輸送性も高いことから、市場出荷向けの特徴を備えています。収穫開始時期が11月下旬～12月上旬と早く、収量も多いことに加え、「べにたま」の名前のおり、紅く鮮やかな果皮の色も印象的で、埼玉県独自品種として定着が期待される自慢の品種です。11月末に市場関係者



「べにたま」専用の出荷箱



現地検討会の様子

【お問合せ】 農業支援部 技術普及担当 TEL0480-61-3911

前埼玉県北川辺領土地改良区理事長の叙勲について

前埼玉県北川辺領土地改良区理事長 柳田英孝 様におかれましては、北川辺いちご部会会長、前谷地区農業及び環境保全推進協議会会長などを歴任し、長年農業振興に貢献された功績により旭日単光章を授与されました。受賞に際しては新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、天皇陛下の拝謁等は実施されず、勲記及び勲章は当センター所長から11月30日に手渡されました。御本人が就任されていた埼玉県北川辺領土地改良区は、利根大堰から取水した農業用水を4か所の揚水機場により計画的に配分管理し、受益内約800haの農地に用水を供給して、「北川辺のコシヒカリ」など優良米の生産に寄与しています。



左：柳田氏 右：横田所長

【お問合せ】農村整備部 整備支援・管理担当 TEL0480-62-4578

加須市酒米生産者協議会が埼玉農業大賞優秀賞受賞！



表彰式の様子（大野知事とともに）

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営への取組や地域活性化に貢献された方々の功績を称え、そのビジネスモデルを広く発信し、埼玉農業を更に発展させていくことを目指しています。

このたび、加須市酒米生産者協議会（会長篠塚敏雄氏、構成員14人）が地域貢献部門で優秀賞を受賞されました。酒米として人気の高い「山田錦」「五百万石」の銘柄認定（品種名表記が可能）を受け、地元の醸造会社や加須市酒類販売所組合、加須菓子工業組合と連携して地元オリジナル商品を開発し、地域の活性化を

図ることをテーマに活動を展開していることが高く評価されました。

現在は、約10haの特別栽培を行っており、生産された酒米は市内外の6蔵に原料供給されています。イギリスで昨年開催された品評会では、協議会が生産した「山田錦」を原料に地元醸造会社により商品化された「純米大吟醸・加須の舞」が金メダルを受賞し地域の大きなPRになっています。

【お問合せ】農業支援部 技術普及担当 TEL0480-61-3911

埼玉県多面的推進会議 優良事例組織を表彰！

埼玉県多面的機能支援推進会議では、多面的機能支払交付金を活用している県内多数の活動組織のうち、優れた活動を行っている組織を毎年表彰しています。

令和3年度、加須農林振興センター管内では「樋遣川ひまわり会」（加須市）が優良事例組織に選ばれ、11月24日、当センターで開催された優良事例表彰式にて表彰状が授与されました。

この会の活動実績として、農道や水路の維持管理のほか、地元の小中学校とも連携した休耕田へのヒマワリ・そばの植栽、そば打ち体験を実施し、地域の景観形成や文化の継承に取り組んできたことが評価されたものです。

当センターでは、管内65の組織（令和3年度）が活動を継続できるよう支援するとともに、制度の更なる推進を図ってまいります。

【お問合せ】農村整備部 整備支援・管理担当 TEL0480-62-4578



表彰式の様子

オンラインによる情報発信・講習会等の開催を始動！

加須農林振興センターでは、ZOOM を活用したオンラインによる講習会を開催しました。

第1弾は、10月29日に就農後間もない生産者を対象に、農薬の基礎知識についてオンライン講習会を行い、動画はYouTubeで限定公開しました。参加者の26名からは好評でした。

第2弾は、11月30日に北埼玉地区青年農業者研究発表会を、会場参加とオンライン参加の併用で開催しました。第1部の青年農業者の発表では、プロジェクト発表者の加須市の松橋孝之氏が、「土壌病害撲滅大作戦～新規土壌還元消毒でフザリウムを断ち切れ！！～」と題してトマトフザリウム立枯れ病対策の研究成果について発表しました。意見発表者の角田大輔氏は、「農業は自分にとって天職です！」と題して農業に向き合うまでの軌跡、今後の抱負・目標について熱く語ってくれました。第2部の講演会では、所沢市の野村翔平氏から「1回1回が真剣勝負！～新規就農からの農業経営～」と題し、ご講演いただきました。参加者は会場28名、オンライン6名でした。今回の事例を活かし、今後もケースに応じた情報発信、双方向の情報共有を効率的・迅速的に行えるように活動を展開していきます。



第2弾 北埼玉地区青年農業者研究発表会(左:松橋氏、右:角田氏)

【お問合せ】 農業支援部 新規就農・法人化担当 TEL0480-61-3911

農地耕作条件改善事業による区画拡大と農地の集積・集約(羽生市発戸漆畑地区)

【事業の概要】羽生市発戸漆畑地区は市の北部に位置し、昭和20年代に10a区画に整備された地区です。区画が狭いうえにコンクリート畦畔や段差があり、担い手への農地集積が進まず、耕作放棄地の発生が懸念されていました。このため、農地耕作条件改善事業(農林公社営)を活用してほ場の区画拡大を行い、併せて農地中間管理事業により担い手への農地集積と集約を進めました。

(事業実施年度:令和2年度・事業実施面積6.2ha・地権者23名・耕作者(事業実施前20名→事業実施後6名(うち担い手2名)・事業費9,233千円(うち国費4,050千円、県費2,227千円、市費等2,955千円))

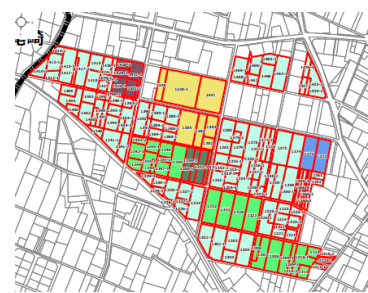
【事業効果】畦畔除去等による大区画化と農地の集約により耕作条件が大きく改善されました。農地中間管理機構と連携し、担い手2名への集積面積が2.3haから4.7ha(担い手集積率37%→75%)に向上し、担い手の平均経営面積も1.35haから2.35haに向上しました。また、農地集約が進むことでコスト低減を図ることも可能になり、経営の安定につながることも期待されます。



【事業実施前】



【事業実施後】



【実施後の農地の集約状況】

【お問合せ】 管理部 地域支援担当 TEL0480-61-3404

川の国埼玉はつらつプロジェクト「酒巻導水路地区」が完了しました！

埼玉県では、川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」を目指した川の再生事業として、「水辺再生100プラン」(H20～)、「川のまるごと再生プロジェクト」(H24～)、「川の国埼玉はつらつプロジェクト」(H28～)などに取り組み、市町村の地域振興と連携した水辺空間の整備・拡充を実施してきました。

その中で行田市の「酒巻導水路地区」では、はつらつプロジェクトの一環として、地域の賑わい創出を目的とした親水護岸や遊歩道等の整備を行いました。

酒巻導水路沿いには学校や住宅街が隣接していることから、地元自治会や環境NPOの方にも地域協議会に参加していただき、整備方針や施設の利活用について検討していただきました。

完成した遊歩道には、地域の方による花壇の植栽や桜の植樹が行われ、地域の方の憩いの場として活用されています。

【お問合せ】農村整備部 県営事業担当 TEL0480-62-4582



▲ 整備後の酒巻導水路



▲ 花壇の植栽(左)、桜の植樹(右)

事業期間	平成29年度～令和2年度
事業概要	親水護岸・遊歩道整備 0.36km
総事業費	323,436千円

利根RTK基地局の利用者募集中！

「利根RTK基地局」は、行田市内の農家7戸でRTK基地局を設置・運営するために令和2年度に結成された任意団体です。RTK基地局を活用したスマート農業に取り組み、経営の発展を目指しており、現在、利用者を募集しています。

この基地局が発する位置情報の電波と自動操舵システムを組み合わせることで、トラクター等を自動走行させることができます。これにより、高精度な自動走行(誤差2～3cm)で、は種、畝立て、耕うん、代かき、肥料・農薬散布ができるだけでなく、作業にかかる負担を大幅に軽減することが可能です。

「利根RTK基地局」は埼玉県スマート農業普及推進事業のモデル経営体になっており、加須農林振興センターではその活動を支援しています。

※RTKとはReal-Time Kinematicの略称で、地上に設置した「基地」からの位置情報データによって、高い精度の測位を実現する技術のことです。

※RTK基地局による高精度位置情報は、設置地点(行田市長野)から半径20km範囲内で受信可能です。

【お問合せ】農業支援部 技術普及担当 TEL0480-61-3911

農作業を超効率化！
高精度位置情報サービス
早期契約割引料金：50,000円/年
※2022年2月28日までにお申し込みの方限定です。(第1次募集)
※RTK基地局を使うと、耕転、代かき、肥料散布や農薬散布が2～3cmの誤差でできます。

利根RTK基地局のトラシ